

## 平成 29 年度第 1 回春日井市地域公共交通会議議事録

1 開催日時 平成 29 年 8 月 1 日（火曜日）14 時 00 分～15 時 30 分

2 開催場所 春日井市役所 12 階大会議室

3 出席者

【会 長】	中部大学 工学部都市建設工学科教授	磯部 友彦
【委 員】	名鉄バス株式会社 取締役副本部長	近藤 博之
	近鉄東美タクシー株式会社	
	運輸部長春日井営業所長	相川 敏行
	公益社団法人愛知県バス協会 専務理事	古田 寛
	愛知県タクシー協会 春日井支部長	奥村 薫績
	春日井市区長町内会長連合会 副会長	安達 昭夫
	春日井市民生委員児童委員協議会 会計	馬上 貴美子
		(代理 今村 勝芳)
	春日井市老人クラブ連合会 副会長	所 信雄
	社会福祉法人春日井市社会福祉協議会 会長	黒田 龍嗣
	春日井市婦人会協議会 書記	伊藤 月美
	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局	
	首席運輸企画専門官	杉本 忠久
	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	伊藤 匠二
	愛知県振興部交通対策課 主幹	桑原 良隆
		(代理 塚崎 有里)
【事務局】	春日井市総務部交通対策課 課長	梶田 岳宏
	課長補佐	金田 浩
	主査	花井 輝年
	主事	安永 陸人

4 議題

- (1) 市内の交通情勢について
- (2) その他

5 会議資料

- 資料 1 市内の交通情勢について
- 資料 2 平成24年度アンケート調査票
- 資料 3 春日井市地域公共交通会議委員名簿
- 資料 4 春日井市地域公共交通会議配席図

## 6 議事内容

### (1) 市内交通情勢について

【事務局】 資料1の1ページに基づき、市内公共交通の利用状況について説明した。

【近藤委員】 名鉄バスの利用状況等について補足説明をした。

【奥村委員】 タクシーの利用状況等について補足説明をした。

【磯部会長】 ユニバーサルデザインタクシーを導入するとのことだが、どのような特徴があるのか。

【奥村委員】 シートアレンジによって、車椅子等に乘ったまま乗車が可能であり、事前予約等も必要ないので、気軽に利用をしてもらうことができると考えている。

【古田委員】 神領駅や勝川駅の利用者が増加しているとのことだが、若い世代が増えているのか。

【磯部会長】 春日井市はパークアンドライドが多く、近隣の自治体からの利用者も多い。

【事務局】 車に加えて自転車の利用も増加しており、全体的に利用者が増加している。

【磯部会長】 名鉄バスの利用者は多いというイメージがあるが、どのような状況か。

【近藤委員】 幹線的な路線については安定した輸送を行えているが、支線的な路線を維持しようとする非効率な部分があり、収支という点では厳しい状況である。

【奥村委員】 支線的な輸送が減少しているという点で、神屋団地口の早朝のバス本数の減少に伴いタクシーによる代替輸送を行っている。

現在はバス会社や市と、バスを降りた後の移動についても協議している。移動スーパーマーケット道風君の近くにタクシーを配車し、短い距離でも乗車していただくなど、今後は様々な方法を検討していく必要がある。

【事務局】 資料1の2～3ページに基づき、「意見・要望」について説明した。

【奥村委員】 バス停の間隔はどの程度か。

【事務局】 かすがいシティバスについてはおおよそ500～600メートルである。

【奥村委員】 高齢者や荷物を持った人にとってはバスを降りてからの250メートルの距離が大変であると聞いている。タクシーでは負担が大きいと感じる方もいることからバス停をもう少し増やして間隔を狭めても良いのではないか。

タクシーも乗り場を増やすなどしているが、他の地区ではバス路線がなくなったことによりショッピングセンターが閉店したという事例も聞いているため、バスやタクシーも改善していく必要があるのではないかと。

【磯部会長】 既存のバス停の間隔を狭めるのも一つの手ではある。

【奥村委員】 要望のある徳洲会病院についても、駅から近いことや、タクシーだと負担が大きいことから歩く人が多い。今のような暑い時期などは負担

も特に大きいかと思う。

【磯部会長】 シティバス路線の見直しだけでなく、その他のバス会社も含めて考える必要がある。また走らせる時間を限定させるなどの方法もあるのではないか。

【安達委員】 かすがいシティバスは、バス停に乗客がいない場合は通過するのか。所要時間がかかりすぎるから乗らないという人も多いと思う。

【事務局】 発車時間まではバス停で待機し、早発はしない。  
時間に関しては一番長い東環状線については1周2時間。環状線になっていることから、目的地まで長い人で約1時間かかるため、時間がかかり過ぎるという意見もあるが、乗換をしないで目的まで行きたいという意見もある。その点については今後検討していきたい。

【伊藤月委員】 市役所と市民病院は必ず通る必要はあるのか。時間帯によっては通らなくても良いのではないか。

【事務局】 過去のアンケートや調査によると市民病院と市役所の需要が高い。全との便で通るかについては今後の参考とさせていただく

【伊藤月委員】 ふれあいセンターや公民館などでも市役所業務を行っている所もあるので、必ず通す必要はないのではないか。

【事務局】 今後の参考とさせていただく。

【磯部会長】 交通の政策だけではなく、医療政策等と併せて検討する必要がある。

【安達委員】 買い物弱者が多いことから全ての路線でショッピングセンターなどへ行けるようにしたほうが良いのではないか。病院へ行った帰りに買い物をする等、いくつかの用事を一緒に済ますことが出来るとよいのではないか。

【事務局】 かすがいシティバスは全ての路線で買い物施設や病院へ行くことが可能である。しかし全ての利用者が行きたい施設へ必ず行けるということではないため、今後検討していく。

【磯部会長】 春日井市の道路網はバスの運行に適しているか。

【事務局】 北部線の一部で道路幅が狭い箇所もあるが、おおむね問題ない。しかし利用者の住居付近となると道幅が狭くなる。

【奥村委員】 最近坂下出張所が新しくなったが、市の施設を公共交通空白地域に作り、そこへバスを通すといった計画はあるか。

【事務局】 坂下出張所についてはかすがいシティバスの坂下出張所バス停がある。今後施設ができたらずバスを通すというわけではないが、意見や要望等をふまえて検討する。

【奥村委員】 まちづくりが先か交通が先かという問題もあるが、総合的に考えてもらえると良いのではないか。

【磯部会長】 市の別の部局で立地適正化というまちと交通を一緒に考えるという動きがあり、そうした内容をシティバスに反映させていく必要がある。

【奥村委員】 そうした動きを市がリードして進めてくれると事業者としても動きやすいのでありがたい。

【事務局】 資料1の4ページに基づき、「アンケート調査」について説明した。

- 【磯部会長】 各委員に対して意見を求めた。
- 【伊藤月委員】 福祉の里でもアンケートを行うのか。  
福祉の里の便数を増やしてほしいという要望が多いが、便数は増やせないか。
- 【事務局】 福祉の里でも実施予定である。  
便数を増やしてほしいという要望もあるが、時間が長くなるので減らしてほしいという要望もある。今後の参考とする。
- 【磯部会長】 アンケートをどこで実施するかはよく検討する必要がある。
- 【安達委員】 シティバスの利用者はどういった人が多いか。
- 【事務局】 高齢者の利用が多い。また、障がい者の利用も多いため、そうした方を対象に福祉施設等でもアンケートを実施予定である。
- 【黒田委員】 郵送調査はあまり回収率が良くないのでは。回収率が良い方法で行えると良い。
- 【磯部会長】 アンケートはいつ行うか。
- 【事務局】 秋から冬の間に行う予定である。
- 【杉本委員】 前回のアンケートには乗継についての項目がない。加えた方がいいのでは。
- 【事務局】 参考とさせていただく。
- 【磯部会長】 アンケート内容については各委員等の意見を聞いて実施するのが良いのではないか。乗継は市民病院と市役所の2箇所か。
- 【事務局】 勝川駅で西環状線と南部線の乗継は可能だが、基本的には市民病院と市役所の2箇所である。
- 【安達委員】 シティバスの時刻表の文字が小さくて見にくい。高齢者では見るのが難しい。
- 【事務局】 今後の参考とする。
- 【磯部会長】 アンケート調査は利用者だけでなく、駅利用者や観光客なども対象に行えると良いのでは。
- 【磯部会長】 駅での調査など様々な方法を検討した方が良い。

## (2) その他

- 【杉本委員】 バスの適正な運行について、資料「国土交通省」に基づき説明した。

上記のとおり平成29年度第1回春日井市地域公共交通会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名及び押印する。

平成29年8月24日

会 長 磯部 友彦

署名人 伊藤 月美